

1 「生きる力*」を育む地域ぐるみの教育の推進

■ 現状と課題

21世紀は、新しい知識や情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会、いわゆる「知識基盤社会」の時代とされています。また、グローバル化やインターネットの普及等に伴う高度情報化社会の進展など、子どもたちを取り巻く環境は急激に変化し、複雑化、多様化する教育課題に的確に対応していくことがますます重要になっています。

特に今を生きる子どもたちは、“ゆとり”と“詰め込み”の二項対立を乗り越え、基礎的な知識や技能に加え、思考力や判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を兼ね備えた「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力*」の習得が、より一層求められています。

こうした子どもたちの「生きる力*」を地域とともに育むため、幼児期の教育・保育においては、平成27年3月に策定した「光市子ども・子育て支援事業計画*」に基づく総合的な子育て支援を展開するとともに、「おっぴい都市宣言*」のまちにふさわしい、やさしさあふれる独自の施策の実施など、質の高い幼児教育、保育の推進に努めていますが、引き続き、子育て家庭や地域のニーズを踏まえた包括的な取組みが求められています。

学校教育においては、15歳までを見通した「学び」と「育ち」をつなぐ連携・協働による、幼保及び小中連携教育*のさらなる深化・充実に向け、特に義務教育9年間のつながりを重視した、地域ぐるみの小中一貫教育*への発展を目指す必要があります。

また、光市教育開発研究所*では、平成29年3月に示された新たな学習指導要領*に基づく教育課程の将来的な実施を見据え、知識の理解や確かな学力の育成をはじめ、道徳教育の充実や体験活動の重視、外国語教育の充実等の視点を踏まえた総括的な研究や先導的な調査が重要になっています。

基本施策 1-1 質の高い幼児期の教育・保育の推進

■ 基本施策の方針

「おっぴい都市宣言*」のまちとして、光市で子どもを生み育てたくなる、やさしさあふれる質の高い独自の子育て支援対策を展開します。また、「光市子ども・子育て支援事業計画*」に基づき、まち全体で子どもを育てる意識の醸成や温もりある地域との交流、子育て・育ち環境の質の向上を図るため、幼児教育と保育の一体的な提供をはじめ総合的な子育て支援の実施とともに、子どもの個性に応じた適切な教育、子どもや家庭の実情に即した各種保育サービスの充実など、質の高い幼児教育・保育を推進します。

■ 具体的施策

1 子育て支援の総合的な推進

主な取組み	概要	担当
「おっばい都市宣言*」に基づく子育て支援の展開	子育て世帯が希望にあふれ、全ての子どもたちが、父母や地域の愛情に包まれて育つまちの実現に向けて、「おっばいまつり」の開催など、学校や事業所、地域、行政が一体となった取組みを進めます。	子ども家庭課
光市子ども・子育て支援事業計画*に基づく総合的な子育て支援の推進	子育て世帯のニーズや「おっばい都市宣言*」の理念を踏まえ、総合的かつ計画的に施策を推進します。また、「光市就学相談員*」による就学相談会を開催するなど、就学に不安のある保護者に寄り添った支援を実施します。	子ども家庭課 学校教育課

2 幼児教育の充実

主な取組み	概要	担当
幼稚園施設の整備・充実	幼稚園施設の適正な維持管理など、子どもたちが、安全にのびのびと過ごすことができる環境づくりに努めます。	子ども家庭課
幼児教育に関する研修会の実施	幼稚園・保育所・小学校の連携や職員の資質向上を図るため、各種研修等を通じた指導体制の充実を図るとともに、幼保小連携教育研修会を通じて、教職員同士が方向性を共有し、相互連携を深めます。	子ども家庭課 学校教育課

3 保育環境の充実

主な取組み	概要	担当
各種保育事業の実施	障害児保育、一時預かり、延長保育、病児保育など、子どもや家庭の実情やニーズに対応した保育サービスの充実に努めます。	子ども家庭課
保育所施設の整備・充実	保育施設の適正な維持管理など、子どもたちが、安全にのびのびと過ごすことができる環境づくりに努めます。	子ども家庭課
公立保育所の耐震化の推進	子どもたちの安全・安心を確保するため、計画的に耐震化を推進します。	子ども家庭課
保育士の確保対策の推進	良質な保育環境を目指し、保育士を確保しやすい環境づくりを進め、待機児童「ゼロ」の維持に努めます。	子ども家庭課

■ 主な指標

指標名	近況値	目標値(H33)
①公立保育所の耐震化率	83.3%	100.0%
②保育所等における待機児童数	0人	0人

※近況値出典【年度】：①②子ども家庭課【28】

事業 Pick Up

「おっばい都市宣言*」に基づく子育て支援の展開

～おっばいまつり～

光市は、全国的にも例のない「おっばい都市宣言*のまち」です。「おっばいまつり」とは、愛情豊かなふれあいの子育てをまち全体に広げるため、学校や地域、事業所、行政などが一体となった「親子がともにHAPPYになれるイベント」が一堂に会したまつりで、毎年、8月にあいぱーく光で開催しています。

平成29年度は「みつめ だきしめ かたりあう～世界一のHUGタウンを目指して～」をテーマに、8月6日（日）に記念すべき第25回目として、盛大に開催されました。今年は、親子連れなど約3,000人が訪れ、パネルクイズ「おっばい25」や赤ちゃんハイハイ競走などの多彩なイベントや、「おっばい都市宣言*のまち」イメージキャラクターの“きゅっと”ちゃんとのふれあいを楽しみました。



基本施策 1-2 連携と協働で育む学校教育の推進

■ 基本施策の方針

変化の激しい社会を自立した人間として生き抜くために必要な「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」の調和のとれた「生きる力*」を身に付けるとともに、人との関わりを通して社会の一員としての自覚を高めるなど、未来の担い手としての基礎を培う学校教育を推進します。

「確かな学力」の育成では、「チーム光*」による授業づくりや新しい学習スタイル「ラーニング光*」の開発・実践に取り組み、子ども主体の授業づくりを進め、「わかる授業」を創造します。また、「豊かな心」の育成では、道徳教育や人権教育、キャリア教育*、福祉教育、環境教育等を推進するなど、夢と希望を育む教育や豊かな体験活動の充実に努めるとともに、「健やかな体」の育成では、体育的教育活動の推進と健康教育や食育*等、自らの健康を自ら守り、自らを鍛えようとする態度を養います。

こうした中で、児童生徒の「学び」と「育ち」を支援するため、小中連携教育*から義務教育9年間のつながりをより重視した「小中一貫教育*」への発展と、各学校区単位から中学校区を単位とした「次世代型コミュニティ・スクール*」への進化とともに、学校間・校種間と学校・家庭・地域との連携・協働を一層強固な基盤とした学校づくりを進めます。

また、「スクールライフ支援員*事業」をはじめ「光っ子教育サポート事業」や「特別支援教育*推進事業」など、児童生徒一人ひとりの個性と資質を伸ばすため、きめ細かな支援を実施するとともに、グローバル化に対応した外国語教育「イングリッシュプラン光*」の推進をはじめ、中学生の海外派遣事業や民間との連携による「英語スピーチコンテスト」に取り組むなど、国際性豊かな人づくりや国際理解、異文化等を体験できる学習機会を創出します。

高校・高等教育の推進では、県と連携して地域や生徒のニーズに対応できる学習環境の充実や特色ある学校づくりを支援するとともに、私立学校においては、自主性を尊重しつつ、教育環境の維持・向上を図るための支援を行います。

また、経済的理由に左右されず、学生の修学機会を確保するための奨学金制度等、必要な就学支援について、継続して実施します。

こうした様々な教育活動の充実・改善を図るため、教職員の研修機会の充実とともに、資質向上に努めていきます。

■ 具体的施策

1 確かな学力を育む教育の推進

主な取組み	概要	担当
「チーム光*」による学力向上を目指した授業づくり	学力向上推進リーダーや推進教員*、小小及び小中連携、地域の教育力の活用等を基盤とした「チーム光*」による実践を通して、授業力の向上、組織的な取組みの充実、学習規律の徹底を図り、「わかる授業」を目指します。	学校教育課
新たな学習スタイル「ラーニング光*」の開発・実践	授業力の向上を図る授業展開として「光スタンダード*」を意識した授業作りを基本に、アクティブ・ラーニングの視点を踏まえ、授業改善を重ねる「ラーニング光*」の確立を目指します。	学校教育課
グローバル化に対応した外国語教育「イングリッシュプラン光*」の推進	授業や多様な場面でのALT（外国語指導助手）の活用や英語体験型ワークショップの実施、教職員の専門性の向上に向けた研修会の充実等、コミュニケーション能力の育成を目指した英語教育を推進します。	学校教育課

事業 Pick Up

英語体験型ワークショップ 「イングリッシュキャンプ光」の開催

英語力の向上を目指す児童が英語でのコミュニケーションを図る体験を通じて、楽しみながら英語に慣れ親しむことを目的に、夏休みの期間を利用して、平成29年8月28日（月）に、英語体験型ワークショップ「イングリッシュキャンプ光」を周防の森ロッジで初めて開催しました。

当初は、英語でのコミュニケーションに戸惑いながらも次第に慣れ、気がつけば子どもたちからALTの先生に、英語で話しかける姿が至るところで見られました。



2 豊かな心を育む教育の推進

主な取組み	概要	担当
夢の実現に向け志を抱かせるキャリア教育*の推進	職場見学や職場体験等、学校の学びと社会との接続を意識した学習や1/2成人式、立志式等を契機に、志を抱かせる教育活動の充実を図ります。また、学校、家庭、地域、企業等が連携し、キャリア教育*を推進するとともに、子どもたちの社会的・職業的自立に向けた意欲・態度・能力の育成を図ります。	学校教育課 文化・社会教育課 商工観光課
地域と連携した福祉教育の推進	ボランティア活動や福祉に関する多様な体験活動など、豊かな体験を通して、命の大切さと思いやりの心を育むため、地域や関係団体、関係機関と連携を図り、地域ぐるみの福祉教育を進めます。	学校教育課 福祉総務課 高齢者支援課
未来のパパママ応援事業の実施	中学3年生を対象に、乳幼児とのふれあい体験を通して、生命の大切さや親への感謝の気持ち、子どもを生き育てることのすばらしさ等について啓発します。	子ども家庭課 学校教育課
生命を尊び、自然を大切にす環境教育の推進	環境に関する学習や学校と地域が連携して取り組む体験活動等の充実を図るとともに、児童生徒の環境保全意識の醸成に努めるなど、地球規模から身近な課題について、学び、考え、行動につなげる環境教育に取り組めます。	学校教育課 環境政策課 環境事業課
スクールライフ支援員*による支援の拡大	支援員を学校や保護者の要望に応じて派遣し、学校復帰に向けて、不登校や集団不適応にある児童生徒への相談活動や適応指導、学習指導を実施します。	学校教育課
心療カウンセラーの派遣による支援の充実	不登校、いじめ、問題行動、就学等の様々な教育相談について、臨床心理士を派遣し、児童生徒、保護者の心身の健康を保持するためのカウンセリングや教職員の資質向上に向けた研修を実施します。	学校教育課
不登校未然防止への取組みの充実	不登校の兆候が現れた段階や休みはじめの段階で、社会福祉士の家庭や学校への派遣やケース会議への参加等を通して関係機関との調整を図り、不登校の未然防止・早期対応に向けた取組みを実施します。	学校教育課
いじめ等への総合的な対応の強化	家庭や地域、関係機関等と連携・協働し、いじめ等の未然防止や早期発見、早期対応など、継続的な取組みとともに、ヤングテレホンひかり*や専門家による教育相談の実施など、相談体制の整備、充実を図ります。	学校教育課 文化・社会教育課

3 健やかな体を育む教育の推進

主な取組み	概 要	担 当
体育的教育活動の推進	学校ごとの「体力向上プログラム」を作成・改善し、目標の明確化を図り、1校1取組みの一層の充実と体育科の授業との関連を強化していきます。また、学校・家庭・地域との連携により、児童生徒の遊びやスポーツの機会の充実を図ります。	学校教育課 体 育 課
学校保健の充実	児童生徒及び職員の健康保持、増進を図るため、学校医・学校歯科医・学校薬剤師と連携しつつ、健康管理及び適切な保健指導を行います。	学校教育課
学校における食育*の推進	家庭や地域、関係機関と連携し、食に関する正しい知識と食品の選択能力等を身に付けるための指導を実施するとともに、日常生活において正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けるため、栄養教諭及び栄養職員による学校訪問指導を行います。	学校教育課 学校給食センター
学校給食における地産地消*の推進	地域の産物への理解や感謝の気持ちを育むなどの食育*の推進を図るため、地場産食材の積極的な使用に努めます。	学校給食センター
よい歯のコンクールの実施	生涯を通して歯科保健に対する意識を高め、歯の衛生に関する正しい知識の普及・啓発を図るとともに、歯牙及び口腔内の健康な児童生徒を選抜・表彰するため、光市、光市教育委員会、光市歯科医師会の主催により開催します。	学校教育課 健康増進課
喫煙防止の啓発	小中及び高等学校の児童生徒を対象に、たばこに関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課
出前健康講座の実施	児童生徒や保護者を対象に、保健師・管理栄養士・歯科衛生士による健康に関する講話等を行います。	健康増進課

4 特別支援教育*の推進

主な取組み	概要	担当
一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導及び支援の充実	合理的配慮の提供や基礎的環境の整備、全校体制による支援の充実を図るとともに、共生社会*の実現を目指し、障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に学ぶ「インクルーシブ教育*」に関する仕組みの構築を目指します。	学校教育課
光っ子サポーター*による支援の充実	特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級に補助教員を配置し、学級集団の中で生活習慣・学習習慣を確かに身に付けることができるよう、きめ細かな指導体制を充実するとともに、学級の安定化を図ります。	学校教育課
専門性を活かした相談、支援体制の整備	児童生徒の心身の健康の保持及び保護者の養育に関する不安を軽減するため、光っ子コーディネーター*を配置するとともに、就学相談会や教育支援委員会等を実施するなど、早期支援・継続的支援に努めます。	学校教育課

5 連携・協働教育の充実と進化

主な取組み	概要	担当
連携教育から一貫教育への深化・充実	9年間を見通した教育目標と15歳段階で目指す子ども像を設定及び共有し、幼保・小・中学校における学校間・校種間連携を密にした具体的な取組みを進めるなど、子どもの「学び」と「育ち」をつなぐ教育を展開します。	学校教育課
次世代型コミュニティ・スクール*の進化	中学校区における学校運営協議会*や地域の各種団体のネットワークの強化を図り、目指す子ども像を共有した取組みを進め、社会総掛かりで子どもたちの学びや育ちを支援する「地域とともにある学校づくり」を推進します。 また、学校、家庭、地域、企業等が連携したキャリア教育*を推進し、主体的に自ら未来を切り拓き、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもたちを育てます。	学校教育課
地域学校協働活動の推進	各中学校区に地域学校協働活動推進員（統括コーディネーター）*を配置し、学校・家庭・地域が連携、協働し、子どもたちの学びや育ちを地域ぐるみで見守り、支援します。	文化・社会教育課

6 国際性豊かな人づくり

主な取組み	概要	担当
中学生等海外派遣事業の推進	夏休みの期間を活用して、中学生等を海外へ派遣し、語学研修やホームステイを通して、国際コミュニケーション能力や国際感覚、責任感等を身に付けるとともに、国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。 また、教育フォーラムなど様々な機会を通じて、海外派遣の成果を報告するとともに、異文化に関する情報の共有や国際理解の促進を図ります。	教育総務課
グローバル化に対応した外国語教育「イングリッシュプラン光*」の推進(再掲)	授業や多様な場面でのALT(外国語指導助手)の活用や英語体験型ワークショップの実施、教職員の専門性の向上に向けた研修会の充実等、コミュニケーション能力の育成を目指した英語教育を推進します。	学校教育課
伊藤公カップ英語スピーチコンテスト*の実施	伊藤公が残した功績の中の1つである、英語の活用や英語による表現の重要性を子どもたちに継承するとともに、英語による表現力やコミュニケーション能力の向上を図ります。	文化・社会教育課

7 高校・高等教育の推進

主な取組み	概要	担当
私学振興への支援	私立学校の自主性を尊重しながら、教育環境の維持・向上、生徒の学力向上を図るために必要な支援を行います。	教育総務課
奨学金等による就学支援の実施	向学心に富み、有能な資質を有するにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な生徒に、学資の貸付を行います。	学校教育課 教育総務課

8 教職員の資質の向上

主な取組み	概要	担当
各種研修、職場体験等による研修機会の充実	学校改革の推進及び教育活動の充実改善を図るため、異業種の職場における体験研修や多様な研修の機会を提供するとともに、教職員の資質向上に努めます。	教育開発研究所 学校教育課

■ 主な指標

指標名	近況値	目標値 (H33)
①「自分にはよいところがある」と思う子どもの割合	小学校 79.7% 中学校 82.6%	小学校 90.0% 中学校 90.0%
②将来に夢や目標を持っている子どもの割合	小学校 89.2% 中学校 75.5%	小学校 90.0% 中学校 90.0%
③全国学力・学習状況調査平均正答率	小学校 【市】 【全国】 国語A 78% 74.8% 国語B 60% 57.5% 算数A 81% 78.6% 算数B 48% 45.9% 中学校 【市】 【全国】 国語A 80% 77.4% 国語B 77% 72.2% 数学A 69% 64.6% 数学B 52% 48.1%	全国平均を上回る
④全国体力・運動能力、習慣等調査における体力合計点の平均値	【市】 【全国】 小学5年生 男子 52.5点 54.2点 女子 53.2点 55.7点 中学2年生 男子 42.3点 42.0点 女子 51.9点 49.8点	小学5年生 男子 54.0点 女子 57.0点 中学2年生 男子 43.0点 女子 52.0点
⑤不登校児童生徒の割合	0.98%	0.60%

※近況値出典【年度】：①②③学校教育課：全国学力・学習状況調査【29】

④学校教育課：全国体力・運動能力、運動習慣等調査【29】

⑤学校教育課【28】

基本施策 1-3 教育開発研究所における先導的調査研究の推進

■ 基本施策の方針

平成 29 年 3 月に公示された新たな学習指導要領*に基づく教育課程が小学校で平成 32 年度から、中学校では平成 33 年度から完全実施されることを見据え、光市教育開発研究所*では、将来的な教育振興に伴う総括的な研究や先導的な調査研究を実施していきます。

心の豊かな成長を育む学校運営の調査研究では、「道徳の時間」を「特別の教科 道徳」として位置付け、小学校で平成 30 年度、中学校では平成 31 年度から実施されることを踏まえ、「考え、議論する」道徳科へのスムーズな質的変換と指導方法について研究を進めます。

また、光を探究する学びに関する調査研究では、ふるさと光市をこよなく愛し、その素晴らしさを発信できる子どもの育成を図るため、小・中学校の教科、領域を横断したカリキュラムとして、光を探究する学び「光市民学*」の開発と活用を行います。

さらには、カリキュラムマネジメントや指導方法の調査研究として、小学校での「外国語活動*」や小・中学校での外国語（英語）教育の実施に向け、小中連携、一貫教育を基盤とした外国語教育等の調査研究を進めます。

■ 具体的施策

1 心の豊かな成長を育む学校運営の調査研究

主な取組み	概要	担当
学校運営部会による「特別の教科 道徳」に係る研究・推進	「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえ、「考え、議論する」道徳の時間の指導方法の工夫・改善と評価の在り方について調査研究を行います。	教育開発研究所 学校教育課

2 光を探究する学びに関する調査研究

主な取組み	概要	担当
教育課程部会による「光市民学*」の教材開発と実践	ふるさとを愛する心の育成とともに、光市の未来を切り拓き、その素晴らしさを発信できる子どもの育成に向けた「光市民学*」の開発と活用を進めます。	教育開発研究所 学校教育課

3 カリキュラム編成や指導方法の調査研究

主な取組み	概要	担当
教育実践部会による小中連携・一貫を基盤とした外国語教育等の研究・推進	小・中学校のつながりを見通した連携体制のもと、外国語教育における教材開発や指導方法の工夫・改善等につなげる調査研究を行い、授業づくりに活かしていきます。	教育開発研究所 学校教育課

4 教育に関する情報の収集・発信・啓発

主な取組み	概要	担当
各種教育広報紙、研究紀要等の発行と教育フォーラムの開催	教育に関する情報収集及び発信の充実を図るため、広報紙「光市の教育」や機関紙「共創」、研究紀要及び研究論文集を発刊するとともに、教育の現状や課題を共有するため、「教育フォーラム」を開催します。	教育開発研究所

■ 主な指標

指標名	近況値	目標値(H33)
①調査研究テーマの数	3テーマ	3テーマ以上
②各種教育広報紙、研究紀要等の発行回数	6回	6回
③教育フォーラムへの参加人数	750人	800人以上

※近況値出典【年度】：①②③教育開発研究所【28】

事業 Pick Up

教育に関する情報の収集・発信・啓発

～教育フォーラム in 光の開催～

「夢と希望にあふれ 未来へ輝く光っ子」を育むため、市民とともに考え、語り合う場として、毎年8月に教育フォーラム in 光を開催しています。

平成29年8月23日(水)には、幼保及び小中連携*をはじめ、校種間・学校間連携をキーワードに開催し、学習発表や海外派遣体験発表、教育講演、児童生徒の作品展示等が行われ、当日も750人の参加者が集い、教育のあり方について皆さんとともに考える1日となりました。

